

まち・ひと・しごと創生 第3期津久見市総合戦略に対するパブリックコメントへの回答

該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
基本目標1 「ひと」	教育について、なぜ多くの子供が外の学校に行ってしまうのかを考え、津久見高校に進学しても十分出来ると認識してもらえると六実をするべきだと思います。津久見高校は先日のロボット相撲全国大会で日本一になりました。このような素晴らしい実績をもっとアピールするべきではないでしょうか。他の高校に行き行かなくても地元の高校で十分と市民に認識してもらえる施策をするべきだと思います。津高産業博のような他ではやっていないことをもっと深堀し、子供や市民が津久見の産業に誇りを持つように導く施策をどんどんするべきだと思います。	・学校教育課	津久見高校が津久見市内の中学生の進路先として選ばれるよう、津久見高校魅力化への支援を行います。津久見高校の活躍は、市報や学校HPでお知らせしアピールします。来年度から小中学校の教育課程に「つくみ学」を位置づけ、津久見の産業や歴史文化等を学び、ふるさとを愛する児童生徒の育成を目指します。	無		

該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
基本目標2 「しごと」	新規就業者に対しての経済的支援をもっと強化すべきだと思います。就職が決まったら、住むところが必要です。家賃の支援、空き家を利用した住宅改修の資金の援助、津久見で生活するには車が必需品ですので、車の購入支援等、津久見市に住みたいと思ってもらえる優位性、他市と差別化できるような支援を打ち出すべきだと思います	・商工観光・定住推進課	本市へ移住した場合、移住に必要な費用について補助する「移住応援給付事業」、定住を促進するため住宅を新築した場合、あるいは空き家バンクを活用して住宅を購入等した場合の補助及び助成として「新築奨励・市内消費喚起事業、空き家利活用事業」を実施しています。更には、移住・定住を促進し、中小企業等の人手不足の解消に資するための補助として「移住支援事業」、移住・定住、地元就職の促進及び有用な人材確保などを図るため、就労後の奨学金の返還に要する費用の一部を補助する「地方創生人材奨学資金返還支援事業」などを実施しています。また、法人等が社員住宅を整備した場合は、企業立地促進条例に伴う社宅整備助成金等の制度がありますので、広報周知を行っていきたいと考えています。 今後とも、様々な角度から就業に係る支援の検討等を行っていきたいと考えています。	無		
基本目標2 「しごと」	津久見の農林水産のブランド化、活性化において新規参入者に対して他市に無いような積極的な支援をするべきだと思います。	・農林水産課	ブランド化、活性化については、販売・流通等を担う農協や漁協など関係者が一体となった取組を進めることが必要だと考えていますので、これまで以上に関係者のご意見をいただきながら、ブランド化、活性化については取り組んでいきたいと考えています。 また、新規参入者への支援としては、他市の成功事例を参考にしながら、津久見に合った独自の支援策も考えていききたいと思いますし、新規参入者個々の考え方も違うと思いますので、その方向性をサポートできるよう、寄り添った支援を考えていきたいと思っています。	無		

該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
基本目標2 「しごと」	<p>これまで10年以上「地域おこし協力隊」で多くの人が津久見に来ましたが、実際定住したのはわずか3名です。これは何が足りなかったのでしょうか？検証してみるべきではないでしょうか。</p> <p>都会に地域の産業をアピールする活動は近年よくされていると思います。それとともにUIJターンのPRをもっと積極的にするべきだと思います</p>	・商工観光・定住推進課	<p>令和6年度まで活動内容を地域おこし、地域資源の発掘・振興への支援、地域行事等の支援、住民の生活の支援、農林水産業への支援、交流事業への支援の活動で募集していましたが、令和7年度から就農を目的とした支援、離島振興活性化を目的とした支援の活動というより具体化した募集を、現在、行っています。地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい本市において、地域力の維持・強化を図るため、地域外の人材を積極的に誘致するとともに、その定住・定着を図ることを目的としていますので、現在、定住していただいている地域おこし協力隊卒業者の方の意見をいただきながら、制度設計等を行い取組を進めていきたいと考えています。</p>	無		
基本目標2 「しごと」	<p>人口の半分程度が65歳以上になっている現在において、そのような人達が地域で活躍できるような環境整備が必要だと思います。その一つが世代を超えた交流が出来ているかということです。親、子、孫といった世代間のコミュニケーションが取れる環境整備が必要だと思います。それが郷土愛、すなわち「津久見愛」を育むことにつながるのではないかと思います。</p> <p>この参考になる事例として、福岡県うきは市のうきはの宝(株)の事業活動を研究してみたいかと思いますが。うきはの宝(株)は、平均年齢75歳以上の高齢者が生き生きと働いている会社で、全国からも注目されている会社です。</p>	・生涯学習課 ・長寿支援課 ・防災危機管理室	<p>三世代の交流については、子どもたちが世代を超えて交流を行うことは、コミュニケーション能力を育てる上で、必要な活動と考えています。</p> <p>また、伝統文化・伝統芸能の担い手の高齢化や後継者不足が課題となっていることなどから、三世代交流は地域の歴史や価値観を未来につなげるために必要不可欠な取組と認識しております。</p> <p>そういった環境をどう整えていくかという点につきまして、事例を提案いただいたところですが、いただいた提案も含め、様々な事例を参考にしながら、津久見市にあった取組を進めていければと考えています。</p>	無		

該当部分	意見	担当課	回答	修正の有無	修正・新設	修正文等
全体	推進状況をPDCAサイクルに基づく検証を行うとしているが、その検証が十分に分かるように十分な説明をしてもらいたい。	・経営政策課	総合計画、総合戦略については、毎年、策定に関わっていただいた委員の方々に対して、KPIの達成状況、施策分野における課題、それに対する取組などを説明し、それに対する意見を頂く意見交換会を実施しております。その内容についてHP等で分かりやすく公表していきたいと考えています。	無		